



60周年記念事業

みんなでつくる 日野の宝マップ ～二中地区～

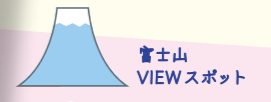
日野に住むみんなから教えてもらった「日野の宝」。
あなたはどのくらい知っていましたか？
自分の住む地区を改めて見渡すと、他にはない面白いものが転がっているかもしれません。

1～10 については参加メンバーが記事で紹介しています。
裏面を見てチェックしよう！

【子どもの居場所 まるっと】
学生団体C-plantによる未就学児から高校生までを対象とした遊び・学びの時間。カフェセミハウスで月1回やってるよ！



【ハンノキ】
水辺が好きな黒川清流公園のシンボルツリー。湧水とともに守っていきたい。



富士山
VIEWスポット



【小便小僧・ラウンドアバウト】
円状交差点ラウンドアバウト内の池の中心にひょうこり佇む小便小僧。1964年の東京オリンピック記念で建てられたもの？ヨーロッパではよく見られるラウンドアバウトも、市内では二か所のみ！

【地区トピックス】

二中地区の美味しいパン屋さん
二中地区には特色ある美味しいパン屋さんがたくさん。それぞれのお店ならではの味が楽しめます♪あなたはどこがお好き？二中地区アクションプラン実行委員会では、毎年パン屋さんを巡るまちあるき(ブランニング)を開催しています。二中地区アクションプランについては裏面をチェック！
・フランドール・サンカントサンク(Cinquante-cinq)・ベッケライならもと(Backerei Naramoto)・アイグラン泉塚店(EiGrain)

- 7 ● 多摩平第一公園
- 日野二中

- 4 ● 黒川清流公園

- 6 ● 多摩平の森ふれあい館

- 豊田小



【ナガエミクリ】
清水堀に群生する準絶滅危惧種の貴重な植物。金平糖のような可愛らしい花が咲きます★みんなで守ろう。

【一号公園】
とっても広い公園。遊ぶにもよし、週末に行われるイベントを楽しむのもよし！豊田の花火を守る会による、花火も夏の風物詩です。

【中央図書館下湧水】
東京名湧水57選のうちの1つ。有川浩の小説「図書館戦争」の舞台にもなっている、中央図書館も必見！



● 東京都立大

● 旭が丘中央公園



動画チームの作品はこちら



1 善生寺



善生寺は江戸時代、豊田地域の地頭であった大久保勘三郎忠良が二十二歳で亡くなった息女を供養するために正保二年(1645年)開創されたお寺です。第九世住職(1858年～

1890年)は大変教育熱心な方で、寺子屋を開き村内の子どもに読み書きを本堂で教えていました。明治七年に豊田学校が創立。明治十二年(1879年)には豊田村、川辺堀之内村、上田村の積立金で善生寺本堂の西側へ木造平屋建ての新校舎が建築されました。昭和十七年(1942年)まで子どもたちが通っていて、これが現在の豊田小学校の前身となっています。跡地には、「豊田地区教育発祥の地 寺子屋・小学校跡地」の石碑が立っています。そして現代、大晦日には境内の鐘が参拝の皆さんにより鳴らされ賑わい、元旦から七日までは日野七福神巡りの寺の一つとして、境内にある大黒天「子宝大黒天」へ多くの方が訪れています。

豊田駅南口から段丘を下った地域は、湧き水が豊かで、田が多く古くから人々が暮らしてきたこともあり、そこに住む人々の交流にまつわる歴史も多く残されています。豊田駅南口から北東方向(東豊田二丁目)に建立の善生寺と若宮神社もそのひとつです。豊田に住む地域の人々の繋がりは、祭りや伝統を通して、数百年を経た現在も引き継がれています。新たな試みとして「つながる人と地域を目指し」豊田第一自治会地区の有志による「グリーンクローバー」と称した活動を立ち上げ、文化で地域の人々をつなぐ事業に取り組んでいます。(グリーンクローバー)

2 若宮神社



若宮神社は「古来より子供の守り神」として小高い武蔵野の森にあります。今から約370年前の慶安五年(1652年)に、豊田村の領主で旗本の久保勘三郎忠良が建立したという棟札がありますが、実際にはそれより古い時代に創建されたものと推測されています。

昔から、豊田の4つの地域には5つの神社(お宮)がありました。戦後、それぞれの神社の神様を「若宮神社」へ集めて祀られています。4つの地域とは、下組(今の豊田第一自治会地区):日枝神社(豊作を願う神様)、中組(今の豊田第二自治会地区):天満神社(学問の神様)、上組(今の豊田第三自治会地区):白鬚神社(地域の安全を願う神様)、矢崎(今の豊田第四自治会地区):八幡神社(体が強く運動が良くてきた神様)です。それぞれの神社からは湧き水が今なお枯れることなく清水堀に流れています。九月の例大祭では「神輿」が町内を練り歩き、吹上や黒川地域の区画整理によって新しく住民となった地域との交流を目的に「奉納子ども相撲大会」が神社境内で50年前から催されています。

3 日野台公園



日野台公園は、(現)日野自動車の日野台第1社宅エリアとして(現)日野台4丁目の全域を使用して誕生した社宅住居が起源となります。

この社宅エリアの中央部に位置する「日野台公園」は、社宅の方々の遊び場として日野自動車が発祥となります。後に、政府(GHQ下)の方針により社宅居住する社員に払い下げられた際に、「日野台公園」は、(現)日野市に移管寄贈されて現在に至ります。令和元年(2019年)7月に市内初の公園リニューアルが行われ地域の防災公園としての位置づけから高木樹木を桜木2本のみ残り伐採撤去され見通しの良い明るい広場となりました。また、公園内には、最新式の設備を備えた快適な多目的トイレ(ソーラー発電)、災害時用のマンホールトイレの設置、電ベンチの設置、幼児からも安心して使用出来るブランコや滑り台の設置と園内監視カメラの設置等々が行われ大人用の健康維持用具も設けられています。園内の花壇には四季の花々が咲き、公園清掃や花壇の手入れ等は、自治会が日野環境緑化協会の委託を受け、月2回(第1、第4土曜日)に月別に各区の当番制で毎回30~40名程の会員が集い苗植え・除草・清掃をおこなっています。是非、皆さんも足をこめてみてください。今回の取材は、日野台自治会会長の藤本様、民生児童委員中部地区協議会会長の半澤様にご案内いただきました。(okame)

4 黒川清流公園



私の黒川清流公園での思い出は、2年生の時に上級生のお兄さんお姉さんと一緒に校外学習に行ったことです。私は2年生の時に、日野第五小学校に転校してきました。前の学校とは違うルールや、全く違った環境など、慣れない学校生活の中でやっとなつた友達は、クラスの人たちでした。私は最初、クラスの人たちと友達になれただけでもうれしかったのですが、他のクラスの人と仲良くしている友達や、違う学年の人と仲良くしている友達を見ていく中で、だんだん寂しくなっていました。ですが、黒川清流公園での校外学習で、水遊びや笹舟教室など、たくさんの人と楽しい時間を過ごせたことで、他のクラスの人と友達になれたり、違う学年の人とも友達になれました。さらに、同じクラスの友達ともっと仲良くなれました。私はこの時、私の世界がぐんと広がったように、感じる事ができました。そんなきっかけくれたのが、この黒川清流公園です。(戸澤遥)

5 カワセミハウス



ぼくがカワセミハウスで遊んだ時の思い出はたくさんありますが、その中から一つ紹介します。ぼくは、カワセミハウスの夏祭りのリーダーとして、ヨーヨー係をやりました。来てくれたお客さんの中には、ヨーヨー釣りが初めてだという人もいて、とても喜んでくれて嬉しかったです。小さい子も来てくれて、最後の「ありがとう」の一言が、もっとがんばろうという気持ちになりました。そのためにも、お客さんに明るく接することを心がけました。お祭りの中にはたくさんの屋台があり、盆おどりもありました。たくさんの方が来ていて、みんながとても楽しそうにいました。最後に、「がんばってよかったな〜。」と思いました。これからも、もっと人との関わりを大切にしたいなと思います。(鈴木朔和)

6 多摩平の森



私にとって、多摩平の森は思い出がたくさんつまっている場所です。その思い出は、毎年秋に家族で写真を撮りにいくことです。秋はとても紅葉がきれいで、落ち葉がたくさんあってふかふかで、ふむのが楽しいです。写真を撮ったら、必ず遊びます。弟とかくれんぼをしたり、おにごっこをしたり、いろいろな遊びをします。なかでも一番楽しいのは、岩に登ることです。私も弟も、小さかったころは1人で岩に登れませんでした。今は1人でも登れます。また、保育園のお散歩の時に、よく多摩平の森に来て、どんぐりや落ち葉を拾ったのも、思い出の一つです。このように、私の思い出の中に、多摩平の森はあるのです。これからたくさんすてきな思い出を作れるように、多摩平の森の自然や生き物を大切にしていきたいです。そして、日野の人々にいつまでも愛される森が、ずっと続くことを願っています。(高尾奏海)

7 多摩平第一公園・うちたす



私の第一公園の思い出はたくさんあります。いつも学校が終わった後の放課後に、いろんな友達と第一公園に集まって、原っぱでおにごっこをしたり、リレーをしたり、「たすけ」というドッジボールのような遊びをしたりして遊んでいます。この頃は、暑くてずっと外にいて熱中症になってしまうので、第一公園にできた「うちたす」という室内施設で少し休けいをしたり、宿題スペースのところで宿題をしたりしています。夏はあまり外で遊べない時にも、うちたすのおかげで遊ぶのがすごく楽しいです。特に好きな遊びは、トランプを立てて積み上げていくことです。集中力が上がって、みんなで協力してやる事ができて、とても楽しいです。これからも、第一公園やうちたすが地域の子供たちの大切な居場所であってほしいです。(浅井小由姫)

8 TOYODA ビール



豊田は、多摩地域最古のビール醸造の地。文化財調査で当時のビール瓶の破片が発見されたことを機に、TOYODA BEERプロジェクト実行委員会の手で130年の時を経て復刻した、明治期の幻のビール。それがTOYODA BEERです。一号公園での豊田収穫祭(一般社団法人トヨタ・エリアマネジメント主催)やカワセミハウスのオクトーバーフェスト(カワセミハウス協議会主催)など、TOYODAビールをテーマにした地域イベントも沢山あります。もちろん市内のお店でも楽しめますよ~歴史と想いの詰まったTOYODAビールをぜひ一度(と言わず何度でも!)ご賞味ください★(とよだっ子)

9 ブランニング(二中地区アクションプラン実行委員会)



豊田駅からちょっと歩くと、オシャレなお店や雰囲気のある素敵なお店にも、水のせせらぎや木陰の涼しい公園にも出会える。お散歩して飽きない、都市と自然が共存するまち二中地区。「わくわく感」「まったり感」など様々な気分を味わうことができます。そんな二中地区のまちを楽しんでもらおうと始まった二中地区アクションプランの「ブランニング」。ブランニングとは、ブラブラとブランニングを組み合わせた造語。桜を楽しんだり、パン屋を巡ったり、豊かな自然に癒されたり…地域をよく知る方々の案内のもと、四季折々の様々なブランニングが楽しめます。今年はなんと小学生によるブランニングも開催するんだとか。ブラブラ歩きながら、五感でまちを楽しみ、地域の魅力を再発見していきませんか?(さんぽっぼ)

10 矢崎橋やすらぎ処



JR中央線豊田駅南口を降りると、浅川に向かって真っすぐのびる坂道があります。そのちょうど真ん中に、大きなケヤキのシンボルツリーが優しい木陰を作っている「矢崎橋やすらぎ処」があります。美しい湧き水の流れる用水にかかる矢崎橋の左右には、豊田の名前のルーツになった「豊かな田んぼ」とよたんぼ、市鳥のカワセミが営巣できるようなカワセミアパート、懐かしい里山の風景を楽しみながら一息つける見晴らしデッキやあずまやもあり、坂道途中の市民の安らぐ休憩場所になっています。公益財団法人都市緑化機構の「緑の環境プラン大賞 シンボル・ガーデン部門」で緑化大賞を受賞した、豊田のみんなの自慢の場所です。春には子供たちの歓声とともに泥だらけで田植え、秋には、稲刈りの後、今では珍しくなった稲架掛けの風景が見られます。美しいカワセミが飛来する姿が見られたらラッキー?!市民の手で、いつまでも大切に守りたい自然豊かな「矢崎橋やすらぎ処」です。(とよよんよん)